



平成28年度教育実習生が来ました



5月23日(月)から教育実習が始まりました。本年度は、3名の卒業生で、英語の嶋田史哉先生と飛田直人先生は5月23日～6月10日の3週間、体育の小野翔亮先生は5月23日～6月17日の4週間です。短い期間ではありますが、実習生にとっても、生徒のみなさんにとっても、有意義な教育実習となることを期待しています。

嶋田 史哉 (日本大学文理学部英文学科)



教育実習ということで、約3週間お世話になりました。母校に戻り、生徒の皆さんの姿を見て思ったことは、高校時代は一瞬で終わるのにもかかわらず、一生心に残る時間だということです。限りある時間の中で、勉強、スポーツ、趣味でも興味があることには、どんなことでも気の済むまで取り組んでください。それが将来の自分を作りあげていくことになります。皆さんの貴重な時間が光り輝いていくことを祈っています。

飛田 直人 (神奈川大学外国語学部英語英文学科)

私が、ここ勝田高校を卒業したのはもう5年も前になります。そして、教育実習生として戻ってくることができたこと大変うれしく思っています。私が伝えたいことは「何事にも全力で」ということです。今あなたができることすべてに全力で取り組んでください。将来、それらがつながって、必ず役に立ちます。無駄にはなりません。何事にも全力で取り組み、高校生活が有意義なものになることを祈っています。



小野 翔亮 (流通経済大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科)



高校の3年間というのは人生の中で1番早く時間が過ぎていったように感じられます。それは1日1日の密度が濃く、充実した日々であったからです。高校時代にできなかったことは今になってもできていないことが少なくありません。今、みなさんは青春の真只中にいます。そしてやりたいことがたくさんあると思います。それを後回しにせず今すぐやりましょう。時間は待ってくれません。やりたいことをやり残さないように頑張ってください。